

2009年度 前期	曜日・校時 火・4	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	フランス語 III (French III)		
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	2T20A~23B	科目分類 外国語科目(フランス語)	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 大橋 絵理 / E メールアドレス: eohashi@nagasaki-u.ac.jp/ 研究室: 環境科学部棟1階(123-2) / TEL: /オフィスアワー: 火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: フランス語IIを履修済みの学生を対象にし、会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を発展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フランスでの日常生活に役立つよう、様々な状況に適応したアクティビティができるようにします。 授業方法: 基本的には教科書に沿って進みます。文法を復習しながら、ヒアリングも重視し、段階ごとに学習成果をチェックする練習問題を行います。フランス語を使えるようにするために、多くのフランス語に接し、異なる相手と共同作業することで、積極的に授業に参加できるような方法をとりまします。 授業到達目標: 映画に行ったり、余暇をどう過ごしたかという日々の行動等を複合過去形や半過去形で話します。またTGVの乗り方、買い物の支払い方法、将来の計画会話を未来形や接続法を使いながらマスターしたあと、自分の考えを述べる、あるいは相手への助言をするなど、フランス人と接する上で重要な自己主張ができるようになることを目標とします。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) とくに耳から聞いて話すことを目標にし、CDを使いスピーチ・アクト、ダイアログ、リスニング課題へと進みます。また最初に、DVDを使って各レッスンの前提となる、フランスの社会についての知識を学び、次に必要な語彙や文法を勉強し、クラスメートと発展的な会話を行います。 第1回 日々の出来事を過去形で話す、複合過去(avoir+過去分詞) 第2回 複合過去(être+過去分詞)、否定形 第3回 代名動詞の現在形、複合過去形、否定形 第4回 長文読解(南仏プロヴァンス) 第5回 旅行について話す、半過去形 第6回 関係代名詞、強調構文 第7回 メールの書き方、受動態 第8回 接続法 第9回 長文読解(アルザス地方) 第10回 観光をする、単純未来形 第11回 夕食をとる、ジェロンディフ 第12回 感嘆文、中性代名詞 y, en 第13回 長文読解(共和国の制度) 第14回 疑問形容詞、Il faut の用法 第15回 全授業の総括(試験含む)			
キーワード	楽しく日常会話ができるようになる		
教科書・教材・参考書	Amicalement 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)		
成績評価の方法・基準等	定期試験70%、小テストや課題20%、授業中の発表や参加状況10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		